



一緒に企画してくださった
アスコンのみなさまと



福山市立大学の地域連携コーディネート、安藤です。このたび、同じ町内（港町）にある株式会社アスコン様と共同で、「アスコン×SDGsクラブによるSDGsセミナー」を初開催しました。

アスコン様と、本学の学生サークルSDGsクラブが連携したこの企画。企業が考え実践するSDGsと学生目線のSDGs、それぞれの取り組みを紹介し合った後、質疑応答を通して交流を行いました。

当日は会場・オンラインあわせて40名あまりのアスコン社員のみなさまが参加してくださり、テーマに対する関心の高さを実感しました。質疑応答で

はアスコン様から「欧米に比べて日本のSDGs普及が遅れているのはなぜか？」など高いレベルの質問が続きましたが、真摯に回答する学生たちの姿が印象的でした。逆に学生からはサークルのメンバー集めに關する質問があり、各種販促支援を専門とするアスコン様ならではのアドバイスをいただくことができました。

事後アンケートでは、「クラブによる『食べるボランティア』をアスコンで開催してほしい」「定期的に情報交換の場がほしい」「とても刺激になった」といったご意見をアスコン様よりいただきました。今後、共同ごみ拾い活動やイベントを通じて、同じ町のご縁を活かした交流を続けていければと思います。

●地域で活躍する学生たち

キャンパスを飛び出して、まちで活躍する学生がいます。今回ご紹介



佐藤さん提供写真

なアイデアを温めているそう。自分の足で飛び回り、地域の方々の話を聞き、輪を広げていくその姿に、今後とも目が離せません。

■保命酒Bar「HOREI」
詳しくは、インスタグラム
@houmeishu_fukuyamaへ

佐藤さんが保命酒と出会ったきっかけは、都市経営学部のまちづくり関連の演習で取り組んだ鞆地区のフィールドワークとグループワークでした。福山市の特産品・保命酒を醸造している蔵は、現在4社のみ。試飲を通して保命酒の魅力に気付いた佐藤さんは、4蔵の味の違いを感じてもらう「4種飲み比べ」や、各銘柄の特徴に応じた「保命酒割（リンゴジュース、牛乳など）」といったカジュアルに楽しめるメニューを考案。独自の取材から各社の風味の違いを図解するなど、保命酒の魅力発信に全力投球しています。

佐藤さんは愛知県生まれ。4人兄弟の長男として育ち、「幼いころから父の会社の登山会に参加するなど、大人と接する機会が多かった」と話します。今後の展開についても、さまざま



FUKUYAMA CITY UNIVERSITY
福山市立大学

教育学部、都市経営学部の2学部で構成される公立の4年制大学。自治体や地域社会、地元企業との連携を深め、持続可能なまちづくりに寄与する人材の育成をめざしている。

【問い合わせ先】

福山市立大学 事務局総務課 連携担当
☎ 084-999-1112 ✉soumu@fcu.ac.jp



研究シーズ集